

News Release

平成22年度上半期業績のお知らせ

J A共済連（全国共済農業協同組合連合会・代表理事理事長 横井義則）の平成22年度上半期（平成22年4月1日～平成22年9月30日）の業績をお知らせいたします。

1. 主要業績

(1) **新契約高** ※詳細は別添資料の1ページをご覧ください。

① 生命共済

生命共済（生命・医療共済合計）の新契約高は、新仕組みの医療共済が生存保障ニーズの高まりにより53万8千件と好調に推移していることから、件数では前年同期を上回り、122万6千件（前年同期比150.0%）となりました。一方、保障共済金額では医療共済などの生存保障ニーズへの対応により前年同期と比べ減少し、6兆2,966億円（前年同期比77.3%）となっています。

なお、契約者からの共済掛金受入額は、積立型終身共済の伸長による一時払掛金の増加等により、前年度同期に比べ1,477億円増加の1兆1,920億円（前年同期比114.2%）となっています。

② 建物更生共済

建物更生共済の新契約高は、件数が43万4千件（前年同期比91.0%）、保障共済金額が6兆4,997億円（前年同期比91.7%）となっています。

なお、契約者からの共済掛金受入額は、前年度同期に比べ2億円増加の1,310億円（前年同期比100.2%）となっています。

③ 年金共済

年金共済の新契約高は、件数が10万3千件（前年同期比99.1%）、年金年額が640億円（前年同期比90.5%）となっています。

④ 自動車共済

自動車共済では、減税効果による自動車販売数の増加などの影響もあり、契約件数が413万8千件（前年同期比99.9%）、契約者からの共済掛金受入額が1,559億円（前年同期比100.4%）と堅調に推移しています。

(2) **保有契約高** ※詳細は別添資料の1ページをご覧ください。

生命共済および建物更生共済合計の保有契約高は、満期到来契約が高水準で推移していること等により、保障共済金額が314兆6,391億円（前年度末比98.2%）となり、前年度末に比べ5兆6,825億円の減少となっています。

年金共済では、年金年額が1兆9,656億円（前年度末比100.2%）となっています。

(3) 主要収支状況等 ※詳細は別添資料の2ページおよび4ページ以降をご覧ください。

① 受入共済掛金

受入共済掛金は、積立型終身共済の新契約の増加等に伴う一時払掛金の増加等により、前年同期に比べ1,478億円増加し、3兆2,717億円（前年同期比104.7%）となっています。

② 支払共済金

支払共済金は、生命総合共済および建物更生共済の満期共済金が減少したこと等により、前年同期に比べ370億円減少し、2兆120億円（前年同期比98.2%）となっています。

③ 財産運用収益

財産運用収益は、利息および配当金収入が増加したこと等により、前年同期に比べ232億円増加し、4,121億円（前年同期比106.0%）となっています。

④ 財産運用費用

財産運用費用は、有価証券売却損が増加したこと等により、前年同期に比べ79億円増加し、309億円（前年同期比134.6%）となっています。

⑤ 経常利益

経常利益は、前年同期に比べ53億円減少し、1,759億円（前年同期比97.1%）となっています。

(4) 資産の状況 ※詳細は別添資料の2ページおよび3ページ以降をご覧ください。

総資産は、前年度末に比べ7,934億円増加し、45兆4,567億円（前年度末比101.8%）となっています。

そのうち運用資産は、前年度末に比べ7,215億円増加し、43兆4,388億円（前年度末比101.7%）となっています。

2. 基礎利益 ※詳細は別添資料の2ページおよび22ページをご覧ください。

基礎利益は、必要予定利息額の減少に伴う利差損の減少等により、前年同期に比べ16億円増加し、2,315億円（前年同期比100.7%）となっています。

3. 支払余力（ソルベンシー・マージン）比率 ※詳細は別添資料の2ページおよび23ページをご覧ください。

支払余力（ソルベンシー・マージン）比率は、諸準備金の増加等に伴い支払余力の総額が増加したこと、再保険の担保額の増加等により巨大災害リスクが減少したこと等により、前年度末に比べ47.7ポイント増加の1,000.4%となっています。

※ 本資料における金額は、記載単位未満を切り捨てて表示しているため、増加および減少額については、別添資料の各数表上の数字で算出した数値と一致しない場合があります。

また、前年度同期比等の比率は、小数点第1位未満を四捨五入して表示しています。